

有限会社 エコリサイクル

2023 年度 環境経営レポート

(対象期間:2023年 3月～2024年 2月)



発行日: 2024年5月25日

I. 環境経営理念と環境経営方針

環境経営理念

当社は、地球環境保全への取り組みが重要な経営課題であると認識し、資源循環型社会の一翼を担う産業廃棄物処理事業及び産業廃棄物の適正処理、リサイクル活動を通じて社会に貢献する事により、地球環境保全（天然資源の枯渇、地球温暖化防止のための二酸化炭素発生の抑制）に貢献します。

環境経営方針

当社の事業活動の中で地球環境保全の取り組みと、資源の有効活用を目指し、経営における課題とチャンス定期的に明確化し、可能な範囲で事業経営に反映すると共に以下の方針を継続的に改善し実行します。

行動指針

1. 自社の事業活動による廃棄物の発生を抑制し、また処理を委託された廃棄物はリサイクル率向上に努め、廃棄物の排出量の削減を目指します。
2. 環境関連法規及び当社が同意する環境側面に関係して適用可能な法的要求事項やその他の要求事項を遵守します。
3. 大気汚染の軽減・地球温暖化防止のため、自社の事業活動による二酸化炭素排出量（電力・ガソリン・軽油・灯油等）の削減を推進し、積極的に省エネルギーに取り組みます。
4. 水使用量（総排出量）の削減を推進します。
5. 収集運搬車の作業時間などのロス削減と燃費向上を図り、収集運搬における環境配慮に取り組みます。
6. 「感謝・誠実・謙虚・勤勉」のもと、取引先各位と共同にて地球環境保全活動の一環として、グリーン購入推進に努めます。
7. 地球での清掃活動等環境活動に積極的に参加します。
8. 全社員に環境経営理念・環境経営方針を周知徹底教育し、地球環境保全に対する意識を向上させます。

制定日：2015年 5月 19日

改定日：2023年 5月 15日

代表取締役 永川 瑛華

II. 組織の概要（情報公開項目に＊印付記）

- (1) 名称及び代表者名
有限会社 エコリサイクル
代表取締役 永川 瑛華

- (2) 所在地
本 社 〚677-0055 兵庫県西脇市高松町字横山633番地81
中間処理工場 // //
駐車場 // //
神戸営業所 〚651-1104 兵庫県神戸市北区山田町藍那字伝庫1番1号
- (3) 環境管理責任者及び担当者の氏名と連絡先
責任者 総務部 平田健一 TEL:0795-23-5985
担当者 // //
E-mail k_hirata@eco-nishiwaki.jp

- (4) 事業内容
①産業廃棄物収集運搬業
②産業廃棄物中間処理業(破碎)
③特別管理産業廃棄物収集運搬業
④一般廃棄物収集運搬業
- (5) *法人設立年月日 : 平成10年4月13日
- (6) *資本金 : 1000万円
- (7) 事業の規模 (2023年度実績)
*売上高 752百万円
廃棄物収集運搬量 12065トン

	本社	駐車場	中間処理 工場	神戸 営 業所	合計
敷地面積	69.3㎡	990㎡	2248.66㎡	1500㎡	4,807.96㎡
延べ床面積	138.6㎡	0㎡	384㎡	138.6㎡	661.2㎡
従業員	21人	0人	3人	0人	24人

- (8) 事業年度 3月～翌年2月
- (9) *許可の内容

■産業廃棄物処理業許可
1) 中間処理施設

許可番号		兵庫県第02825057761号
許可の年月日		平成33年3月30日
許可の有効期限		平成38年3月29日
事業の範囲	範囲	処分業(中間処理)
	区分	中間処理(破碎)
	種類	廃プラスチック類(石綿含有産業廃棄物を除く) 紙くず・木くず・繊維くず
事業の用に供する すべての施設	(1) 木くず	
	設置場所	兵庫県西脇市高松町字横山633番地81
	設置年月日	平成13年3月30日
	処理能力	4.8t/日(8時間稼働)
	(2) 廃プラスチック類	
	設置場所	兵庫県西脇市高松町字横山633番地81
	設置年月日	平成13年3月30日
	処理能力	4.8t/日(8時間稼働)
	(3) 紙くず・繊維くず	
	設置場所	兵庫県西脇市高松町字横山633番地81
	設置年月日	平成13年3月30日
	処理能力	紙くず24t・繊維くず4.8t(共に1日8時間稼働)
許可の条件		中間処理の場所は許可証記載の場所に限る
許可の更新又は変更の状況		更新許可:令和3年3月30日
規則第10条の4第5項の規定による許可証の提出の有無		無

産業廃棄物収集運搬業許可

許可自治体	兵庫県	大阪府	京都府	岡山県	広島県	鳥取県	島根県
許可番号	第02815057761号	第02700057761号	第02600057761号	第03308057761号	第03400057761号	第03101057761号	第03200057761号
許可年月日	平成36年1月18日	平成36年3月16日	平成36年4月10日	平成36年6月19日	平成36年1月18日	平成34年4月24日	平成31年12月22日
有効期限	平成41年1月17日	平成41年3月15日	平成41年2月9日	平成41年6月1日	平成41年1月17日	平成39年4月23日	平成36年12月21日
積替保管	有(○)	無	無	無	無	無	無
許可品目	燃え殻	●	●		●	●	●
	汚泥	●	●	●	●	●	●
	廃プラ類	●	●	●	●	●	●
	紙くず	●	●	●	●	●	●
	木くず	●	●	●	●	●	●
	繊維くず	●	●	●	●	●	●
	動植物性残渣	●	●		●	●	
	金属くず	●	●	●	●	●	
	ガラス・陶磁器くず	●	●	●	●	●	●
	がれき類	●	●	●	●	●	●
	廃油	●	●	●		●	
	廃酸	●	●				
	廃アルカリ	●	●				
	ゴムくず		●				
	ばいじん						
	動物のふん尿	●					

特別管理産業廃棄物収集運搬業許可

許可自治体	兵庫県	大阪府	京都府
許可番号	第02855057761号	第02750057761号	第02650057761号
許可年月日	平成36年1月18日	平成36年4月14日	平成36年11月5日
有効期限	平成41年1月17日	平成41年4月13日	平成41年8月13日
積替保管	無	無	無
許可品目	燃え殻	●	
	汚泥	●	
	廃油	●	
	廃酸	●	
	廃アルカリ	●	
	ばいじん	●	
	感染性産業廃棄物	●	
	廃石綿等	●	●

一般廃棄物収集運搬業許可

許可自治体	加東市	丹波篠山市
許可番号	4号	14-19号
許可年月日	平成36年4月1日	
有効期限	平成38年3月31日	
許可の区域	社地域(2事業所限定)・東条地域	丹波篠山市全域

(10) *施設等の状況

産業廃棄物収集運搬用車両

車種	台数	車種	台数
4tアームロール車	4	2t平クレーン車	2
6tアームロール車	2	3t平クレーン車	0
10tアームロール車	3	4t平クレーン車	1
3tパッカー車	1	4tクレーン付アームロール車	1
		軽トラック	2

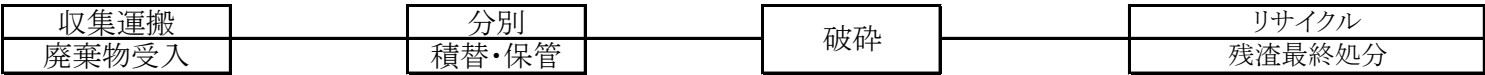
(積替え保管施設 ー本社内)

保管面積	保管上限	積替え保管を行う廃棄物の種類
108.715㎡	266.9m ³	上段許可品目参照

産業廃棄物中間処理機械装置

種類	台数	種類	台数
木くず破砕機	1	ミニショベル	1
紙くず・繊維くず破砕機	1	パワーショベル	2
廃プラスチック類破砕機	1	ホイールローダー	1
		フォークリフト	2

(処理工程図)



(11) * 処理実績

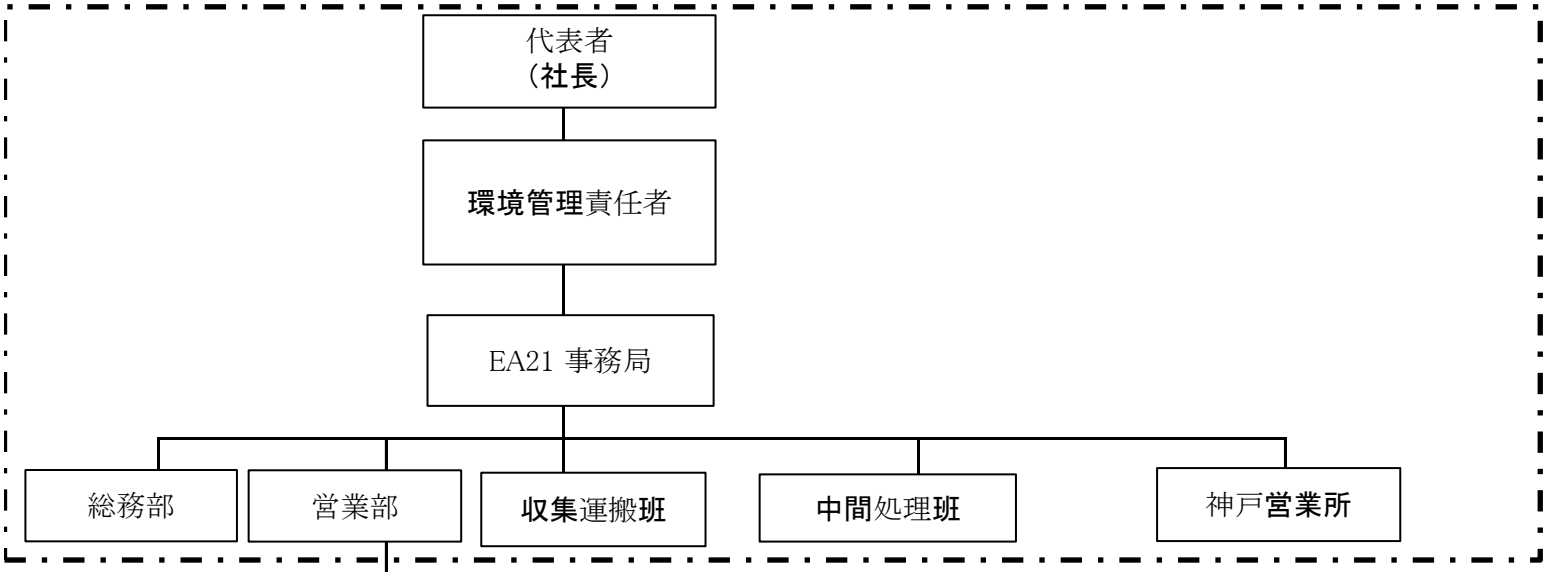
受託した産業廃棄物の処理量
(2023年3月 ～2024年2月)

処理方法等		廃棄物等種類	処分方法等	処理量(t)
(i)収集運搬		普通産廃		8,125
		特別管理産廃		451
		中間許可品目		3,489
収集運搬量合計				12,065
(ii)中間処理		廃プラ・木くず・紙くず・繊維くず	破砕	1,758
				1,002
				707
				22
	うち 再資源化等	廃プラ・紙くず	売却	128
				157
再資源化等量小計			285	
中間処理合計				3,489
(iii)最終処分				
最終処分量合計				0
(iv)中間処理後の産業廃棄物	最終処分	廃プラ	安定埋立(委託)	42
	再資源化等	廃プラ・木くず・紙くず・繊維くず	燃料化(委託)	1,589
				1,002
				550
				22
	再資源化等量小計			3,163
中間処理後処分量合計				3,205

Ⅲ. 認証・登録の対象組織・活動

登録組織名:	有限会社 エコリサイクル
対象事業所:	本社・中間処理工場・駐車場、神戸営業所
対象外:	無し
活動:	産業廃棄物の収集運搬業・中間処理業(破砕) 特別管理産業廃棄物収集運搬業・一般廃棄物の収集運搬業

IV. 環境経営システム組織図及び役割・責任・権限



	役割・責任・権限
代表者(社長)	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・課題とチャンスの定期的な見直し ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直し・指示を実施 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
部門長	・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 ・自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 ・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 ・試行・訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

V. 主な環境負荷の実績

項 目	単位	2022年度	2023年度	
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	417,742	407,058	
電力使用量	kWh	23,279	26,056	
ガソリン使用量	L	12,100	10,412	
軽油使用量	L	145,679	142,806	
LPG使用量	kg	15.53	18.43	
灯油使用量	L	40	0	
一般廃棄物排出量	kg	98.1	152.6	
産業廃棄物排出量	kg	0	0	
水使用量	m ³	51	415	
化学物質使用量	kg	0	0	

VI. 環境経営目標及びその実績

(1) 中長期目標

項 目		年 度	基準値	2023年度	2024年度	2025年度
		(基準年度) 2022年度	目標	目標	目標	
Ⅰ. 二酸化炭素 排出量合計	kg-CO ₂	417,742	413,564	409,387	405,209	
	対基準(%)	100	(△1%)	(△2%)	(△3%)	
① 電力使用量削減	kWh	23,279	23,046	22,813	22,581	
	kg-CO ₂	7,240	7,167	7,095	7,023	
	対基準(%)	100	(△1%)	(△2%)	(△3%)	
②ガソリン使用量削減	L	12,100	11,979	11,858	11,737	
	kg-CO ₂	28,095	27,814	27,533	27,252	
	対基準(%)	100	(△1%)	(△2%)	(△3%)	
③軽油使用量削減	L	145,679	144,222	142,765	141,308	
	kg-CO ₂	382,260	378,438	374,615	370,793	
	対基準(%)	100	(△1%)	(△2%)	(△3%)	
④LPG使用量削減	kg	15.53	15	15	15	
	kg-CO ₂	47	46	46	45	
	対基準(%)	100	(△1%)	(△2%)	(△3%)	
⑤灯油使用量削減	L	40	40	39	39	
	kg-CO ₂	100	99	98	97	
	対基準(%)	100	(△1%)	(△2%)	(△3%)	
Ⅱ.廃棄物排出量の削減	kg	98	97	96	95	
①一般廃棄物の削減	対基準(%)	100	(△1%)	(△2%)	(△3%)	
②受入廃棄物の リサイクル率の向上	リサイクル率	91.4	92.3	93.2	94.2	
	対基準(-)	---	(+1%)	(+2%)	(+3%)	
Ⅲ.水使用量の削減	m ³	51	50	50	49	
	対基準(%)	100	(△1%)	(△2%)	(△3%)	
Ⅳ.化学物質の適正管理	管理					
	使用量kg					
Ⅴ.収集運搬における環境配慮 (二酸化炭素排出量/売上高)	m ³ /kg-CO2	実績不明	実態把握	目標設定	取組継続	
	対基準(%)		(基準年)	(+1%)	(+2%)	

※電力による二酸化炭素排出量は、関西電力(株)の2021年度の二酸化炭素排出係数 0.311kg-CO₂/kWh(調整後排出係数)を用いて算出した。

(2) 2023年度の実績

年 度 項 目		2022年度□	2023年度の実績			
			(2023年3月～2024年2月)			
		基準年度	目標	実績	達成度(%)	評価
I. 二酸化炭素 排出量合計	kg-CO ₂	417,742	413,564	407,058	102	○
	対基準(%)	100	(△1%)			
① 電力使用量削減	kWh	23,279	23,046	26,056	88	△
	kg-CO ₂	7,240	7,167	8,103		
	対基準(%)	100	(△1%)			
② ガソリン使用量削減	L	12,100	11,979	10,412	115	○
	kg-CO ₂	28,095	27,814	24,177		
	対基準(%)	100	(△1%)			
③ 軽油使用量削減	L	145,679	144,222	142,806	101	○
	kg-CO ₂	382,260	378,438	374,723		
	対基準(%)	100	(△1%)			
④ LPG使用量削減	kg	16	15	18	83	△
	kg-CO ₂	47	46	55		
	対基準(%)	100	(△1%)			
⑤ 灯油使用量削減	L	40	40	0	-	○
	kg-CO ₂	100	99	0		
	対基準(%)	100	(△1%)			
II. 廃棄物排出量の削減	kg	98	97	153	64	×
① 一般廃棄物の削減	対基準(%)	100	(△1%)			
② 受入廃棄物の リサイクル率の向上	リサイクル率	91.4	92.3	90.7	98	△
	対基準(-)	---	(+1%)			
III. 水使用量の削減	m ³	51	50	415	12	×
	対基準(%)	100	(△1%)			
VI. 収集運搬における環境配慮 (二酸化炭素排出量/売上高)	千円/kg-CO ₂	実績不明	実態把握	0.055	—	—
	対基準(-)			(基準年)		

注1) 評価欄 ○:達成(100%以上) 、△:やや未達成(80%以上) 、×:未達成(80%未満)

注2) 達成度欄にて、削減を目指す場合は、達成度＝目標÷実績×100(%)、増加を目指す場合は、
達成度＝実績÷目標×100(%)

注3) リサイクル率＝3,162t/3,489t×100(%)

注4) 化学物質は使用していない

Ⅶ. 環境経営計画及び取組結果とその評価、次年度の経営計画

◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	評価結果と次年度の取組内容
二酸化炭素排出量総量の削減	○	(目標達成)
・下記の通り		内容は以下の通り。
電力による二酸化炭素排出量の削減		(目標達成)
・空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房20℃)	△	年々、意識の向上が図れていると感じています。事務所では不要時の消灯が不十分でしたので、今後は時間に関係なく人のいない場所では消灯を心がけるようにしていきます。左記項目は、今後も引き続き推進していきたい。来期は、事務所空調機の取替や蛍光灯のLED等を取り組みたいと考えています。又、今後も朝顔の植栽、すだれの採用を行う予定です。
・不要照明の消灯	△	
・処理工程の待機時間短縮	○	
・空運転時の電源停止	△	
・焼却炉の予熱時間短縮		
自動車燃料による二酸化炭素排出量の削減(ガソリン)		(目標達成)
・効率的なルートで収集	○	アイドリングストップ、効率的な営業を心がけたので効果はありましたが、さらに検討して推進して行きたいと思います。車両入れ替えの際には、低燃費車の選択検討を視野に入れています。
・エコドライブ10の実行	○	
・アイドリングストップ	○	
・急加速・急停車の防止	○	
自動車燃料による二酸化炭素排出量の削減(軽油)		(目標達成)
・効率的なルートで収集	○	アイドリングストップ、効率的な収集運搬を心がけたので効果はありましたが、さらに検討して推進して行きたいと思います。毎年車両入れ替えが必要なので、低燃費車の選択検討を視野に入れています。
・エコドライブ10の実行	○	
・アイドリングストップ	○	
・急加速・急停車の防止	○	
・灯油使用量の削減		
・空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房20℃)	◎	使用をやめた
・無人時の石油ストーブ停止	◎	
・一般廃棄物の削減		
・コピー紙の裏紙使用	◎	裏紙の使用、事務用品の節約は、関係者が積極的に実施しています。リサイクル推進については、改善の余地があり、活動内容を精査し、できることから実施します。
・事務用品の節約	◎	
・リサイクル推進	◎	
受入れ廃棄物のリサイクル率の向上		(目標達成)
・手選別の徹底	△	スタッフ不足であまりリサイクル率が達成できていませんが、人員募集は常に対処していますのでいましばらくの辛抱です。
・分別の徹底	○	
・リサイクルルートの拡大	○	
水使用量の削減		(目標達成)
・節水運動	○	本社は上水道は無く井戸水なのであまり気にしなくて良いと思います。神戸は近隣民家から200m程引き込んで当該民家の使用料・料金を負担しており、経過を見守る。
・洗車管理(時間・回数・高圧洗浄)	○	
収集運搬における環境配慮		
・売上/二酸化炭素排出量の実態調査	○	二酸化炭素排出量の対売上高実態調査結果から次年度からの基準値とします。

VIII. 環境関連法規等の遵守状況の評価の結果

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	遵守すべき要求事項	遵守評価
廃棄物処理法	受入廃棄物の分別・保管・適正処分	遵守
騒音規制法	空圧機、破砕機の騒音・振動基準遵守	遵守
振動規制法	空圧機、破砕機の騒音・振動基準遵守	遵守
PRTR法	シンナーの性状に関する情報を受取り、化学物質の量を把握する	遵守
大気汚染防止法	焼却炉排ガス基準の遵守	遵守
水質汚濁防止法	最終処分場・水処理施設排水基準遵守	遵守
ダイオキシン類特別措置法	焼却炉排ガス・燃え殻、排ガス洗浄設備排水の各基準遵守	遵守
消防法(危険物)	軽油貯蔵の技術上の基準遵守	遵守
フロン排出抑制法	業務用空調機、エアドライヤのフロン類使用機器の定期点検と記録、漏洩防	実績なし
自動車リサイクル法	使用済営業用乗用車、トラックの適正リサイクル	実績なし

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、関係当局よりの違反、訴訟、或いは環境上の苦情等も過去3年間ありませんでした。

IX. 代表者による全体の評価と見直し・指示

従業員各自が責任感を持ち環境に配慮することがお客様への最大のサービスであると理解するようになったのは、大きな収穫です。目標未達成部分もありますが、環境経営的にも安定していますので室内エアコンの買替や蛍光灯のLED化の取り組みを推進して、環境活動に関する意識を高めてより良い方向で改善することによって、目標達成できるような気がします。又、世界的な気候変動や戦争・紛争による石油資源確保の困難等で、原材料を海外に依存する我が国は円安も伴って諸物価高騰となっております。さらに人材不測の為、中小零細企業はまともにおおきくを受け青色吐息な状況です。このような状況下であります。弊社は経営的には安定しております。そこで地域の環境に配慮しエコアクションのさらなる取り組みとして養蜂事業を展開し、地域と自治体との交流を広げて環境保全等の取り組みを拡大します。

項目	見直し要否	見直し内容
環境経営方針	否	-
環境経営目標	否	-
環境経営計画	否	-
実施体制	否	-
その他	否	-

2024年5月13日

代表取締役 永川 瑛華

X. 環境活動の紹介



<エコアクション掲示板>



<ペットボトルキャップゴミの分別>



<伐採して光を入れ節電>



<井戸水を利用した洗浄(節水)>



<清掃活動>



<地域交流>